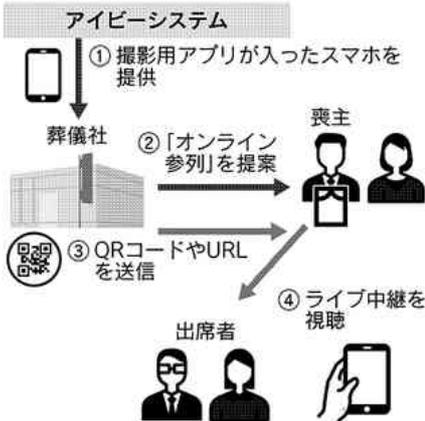


冠婚葬祭もオンラインで

新潟県内 動画配信など広がる

遠隔地から通夜や葬式に「参列」できるようにする(イメージ)



「ザ・ガーデンテラスおゝ乃」は「リモート結婚式」のプランを用意した

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、新潟県内で冠婚葬祭のオンライン対応が広がってきた。IT(情報技術)企業のアイビーシステム(新潟市)は通夜や葬式の中継システムを開発。結婚式の中継と料理や引き出物の送付をセットにしたプランを用意する式場も登場した。これまで大人数が集まっていた冠婚葬祭で変革の動きが活発化してきた。

中継システムを開発

▲アイビーシステム ▼おゝ乃

料理や引き出物送付

アイビーシステムはスマートフォンやパソコンで遠隔地から通夜や葬式に「参列」できるシステム「ライブ葬儀」を開発。1日から葬儀社向けに販売を開始した。

まず、新システムを利用する葬儀社に対し、通夜や葬式の様子を撮影するアプリを搭載したスマホを提供。葬儀社は喪主を経由し、無料通話アプリ「LINE(ライン)」や電子メール、ショートメッセージなどで視聴用のQRコードやURLを

出席者に送付する。出席者は当日、スマホやパソコンを操作すると、通夜や葬儀のライブ中継にオンライン参列できる仕組みだ。

利用は主に高齢者を想定し、オンライン会議システムなどより簡単な操作で済むようにした。

葬儀社がアイビーシステムに支払う料金は撮影用スマホ1台当たり年間4万8000円(税別)。ライブ中継1回当たりの基本料金は2000円(同)で、2時間の中継

時間や20人の出席者(視聴者)を超えた場合は別途料金がかかる。

同社は6月中旬、電子商取引(EC)サイトを通じて香典をクレジットカードで決済できる「キャッシュレス葬儀」のシステムも導入する予定だ。

中継システムとともに葬儀社に売り込んでいく。同社は5月下旬、中継システムのデモンストレーションを「花安新発田斎場」(新潟県新発田市)で実施した。同斎場の渡辺克美社長は「多くの人が参列する従来の葬儀に戻すのは当面難しい。斎場も何らかの対応をしながらはいけない」と話す。

同斎場はオンライン参列の試験運用を検討している。

結婚式場「ザ・ガーデンテラスおゝ乃」(新潟県三条市)では挙式の延期や規模縮小に関する相

談が相次いでいる。こうした事態を受け、「リモート結婚式」のプランを用意し、5月26日から相談の受け付けを始めた。

結婚式を出席者にオンライン会議システムで動画配信するとともに、重箱に詰めた料理や引き出物を送付する。新郎新婦のほかに、親族や友人ら出席者30人のプランで基本料金は89万7900円。7月から運用を始める予定だ。

掲載日 2020年6月3日 日本経済新聞 地域経済 1ページ ©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。